

重点 目標	自己評価				達成状況	備考
	評価項目	具体的取組	評価指標	評価：達成度判断基準		
学びづくり	総合的な学 力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力調査の結果を分析して定着していない内容を授業や朝学習での補充</li> <li>授業での字んだ知識や言語力を活用して思考、判断し表現する活動場面を設定</li> <li>国語検定、算数検定の実施</li> </ul>	<p>【成果指標】 各種・学力調査の結果が県及び国の平均を上回っている。</p>	<p>全国学力学習状況調査・基礎学力調査の結果が県平均・市学力調査の結果が全国平均を上回っている教科が全体の</p> <p>A: 80%以上 B: 75%以上 C: 50%以上 D: 50%未満</p>		<p>主担当:中村 評価方法: 学力調査 評価実施時期: 8月,1月</p>
	学 力 向 上 プ ラ ン の 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールを明確にし、見通しや目的をもって学習する場面の設定</li> <li>課題解決に必要な環境(既習揭示、学習ツール、学習形態)を整える</li> </ul>	<p>【成果指標】 児童が見通しや目的をもつて主体的に学習に取り組んでいる。</p>	<p>児童アンケートの「学習のゴールをイメージして授業に取り組んだ」という項目で肯定的な回答をした児童の学期平均の割合が</p> <p>A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満</p>		<p>主担当:中村 評価方法: 児童に対する学習アンケート 評価実施時期: 7月,1月</p>
	GIGA スク ー ル 構 想 の 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>週に一度、タイピングの技能を計測する時間の設定</li> <li>まとめ学習や家庭学習等で、積極的なクロームブック活用</li> <li>3年生以上でのローマ字の定着</li> </ul>	<p>【成果指標】 児童にタイピングの技能が身に付いている。</p>	<p>タイピングアプリを活用する。5分間で入力できる文字数の平均(3～6年)が</p> <p>A: 390文字以上 B: 360文字以上 C: 330文字以上 D: 330文字未満</p>		<p>主担当:松本 評価方法:タイピングアプリ 評価実施時期: 7月,1月</p>
心づくり	明るい挨拶 で笑顔があ ふれる学校 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活目標に挨拶に関する目標を設定による挨拶の習慣の定着</li> <li>「あいさつ4つのコツ」を学級で指導し意識化</li> </ul>	<p>【満足度指標】 児童がすすんで挨拶する習慣が身に付いている。</p>	<p>児童アンケートで「挨拶は、明るく、いつでもどこでも・だれにでも、先になら回答をした児童の割合が</p> <p>A: 児童の90%以上 B: 児童の80%以上 C: 児童の70%以上 D: 児童の70%未満</p>		<p>主担当:松本 評価方法: 児童アンケート 評価実施時期: 7月,1月</p>
	児童が相談 できる体制 の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラーの個人面談の実施</li> <li>担任との個人面談の定期的実施</li> </ul>	<p>【努力指標】 児童が相談できる機会を設けている。</p>	<p>月1回以上児童との面談を行ったクラスが</p> <p>A: 4学級 B: 3学級 C: 2学級 D: 1学級未満</p>		<p>主担当:岩崎 評価方法:担任からの報告、相談状況の記録等 評価実施時期: 7月,1月</p>

重点 目標	自己評価				備考
	評価項目	具体的取り組み	評価指標	評価：達成度判断基準	
体づくり	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の体育授業での3分間走の導入</li> <li>ゴールデンタイム等を通した、授業以外の時間にも、積極的に体を動かす状況づくり</li> </ul>	<p>【成果指標】 体力テストで数値の低かった項目「20mシャトルラン」が県平均を上回っている。</p>	<p>「20mシャトルラン」において、県平均を突破した児童の割合が</p> <p>A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満</p>	<p>主担当: 松本 評価方法: 20mシャトルラン 評価実施時期: 7月, 1月</p>
	健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「元氣アップカード」を月ごとに実施し、規則正しい生活習慣の定着</li> <li>早寝・早起きの大切さ、メディアの使用時間等についての指導。</li> <li>朝ごはんの大切さや食事のママ一等の食育の実施</li> </ul>	<p>【満足度指標】 学校での指導や家庭での働きかけの結果、子ども達の生活習慣が向上している。</p>	<p>保護者アンケートの「早寝・早起き・朝ごはんが実行できている」という項目に肯定的に回答した保護者が</p> <p>A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満</p>	
絆づくり・開かれた学校	地域の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域人材を活用し、地域の特色を生かした授業実践の実施</li> </ul>	<p>【努力指標】 生活科、総合的な学習、道徳などの授業やクラブ活動などで、地域の人材を活用する授業を行っている。</p>	<p>学期に1回以上行った学級が</p> <p>A: 4学級 B: 3学級 C: 2学級 D: 1学級</p>	<p>主担当: 梶 評価方法: 担任からの報告等 評価実施時期: 7月, 1月</p>
	学校情報の積極的な公開と家庭・地域への適切な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや学級だよりの発行、ホームページの充実による保護者や地域方の学校経営方針や教育内容についての周知と理解の推進</li> </ul>	<p>【満足度指標】 保護者が学校の教育方針や児童の様子が変わっていると感じている。</p>	<p>保護者アンケートで「学校だより、学級だより、ホームページ等で児童の活動の様子が伝わりやすい。」に對し、肯定的な回答をした保護者の割合が、</p> <p>A: 85%以上 B: 75%以上 C: 65%以上 D: 65%未満</p>	
人材育成・働き方改革	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手を中心となつて、職員全体で学ぶ機会の設定</li> <li>日常的に、かつ月1回短時間でも設定し、授業や行事に実践的に生きたる研修の実施</li> <li>夏季休業中の若手主催で研修会の実施</li> </ul>	<p>【満足度指標】 若手教員早期育成プログラムにより、職員が指導力や、授業力が向上したと感じている。</p>	<p>教職員アンケートで「校内研修や若プロで、指導力・授業力が向上した」に對し、肯定的な回答をした教職員の割合が、</p> <p>A: 100% B: 75% C: 50% D: 25%未満</p>	<p>主担当: 梶 評価方法: 実施回数 評価実施時期: 7月, 1月</p>
	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>職務分掌の平準化と担当の明確化を図り、意識改革の推進</li> <li>業務改善のための会議の定期的開催</li> <li>校務支援システムの活用による業務改善の推進</li> </ul>	<p>【成果指標】 教職員が働き方改革を意識して効率的に業務を行い、時間外勤務時間を削減している。</p>	<p>定時退校日を月に4回(第1・2・3水曜日、マイ定時退校日を1日設定)とし、定時退校日を4回以上取得した割合が、</p> <p>A: 150%以上 B: 130%以上 C: 100%以上 D: 100%未満</p>	